

一本橋架け替え工事概要説明会

1. 現在の一本橋について
2. 架け替えの理由について
3. 工事のスケジュールについて
4. 工事概要について
5. 工事中の交通規制について
6. 架け替え後の橋について

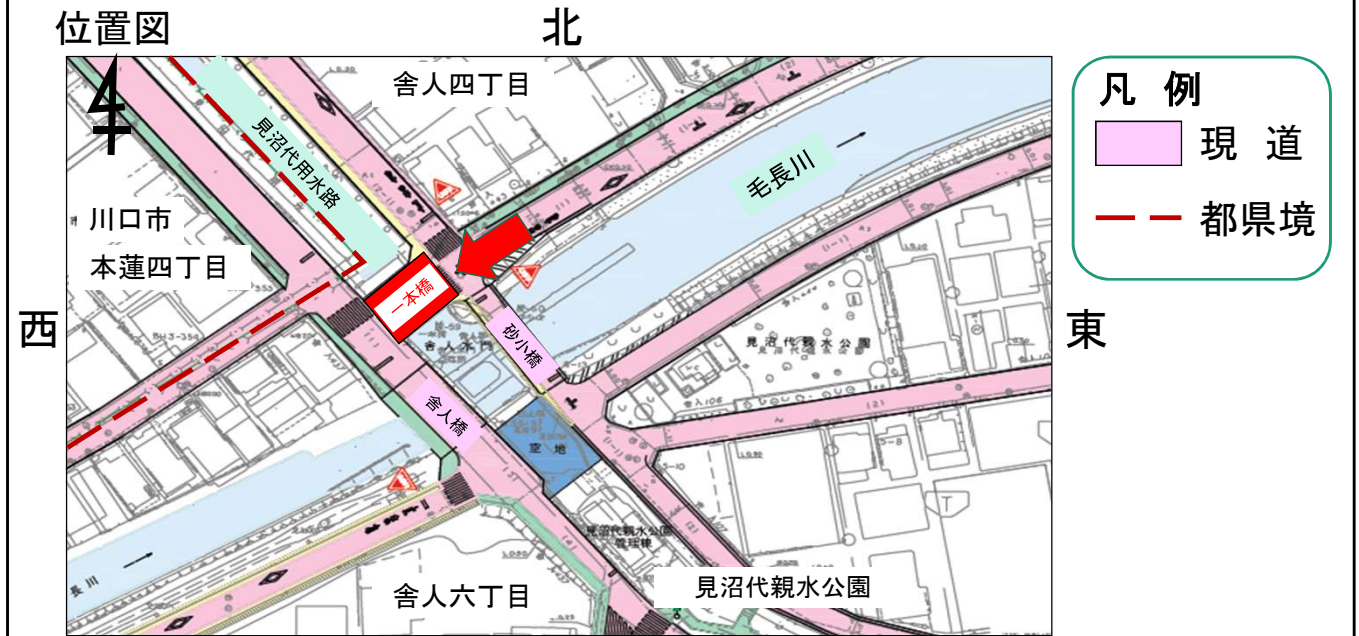
令和4年 10月6日 木曜日

足立区 都市建設部 道路公園整備室 道路整備課

本日の説明内容は、
現在の一本橋について
架け替えの理由について
工事のスケジュールについて
工事概要について
工事中の交通規制について
架け替え後の橋についての、6点です。

質問は説明終了後にお受けします。

1 現在の一本橋について



一本橋は埼玉県川口市との都県境付近に位置し、舎人4丁目7番地付近にかかる橋です。

また、一本橋は見沼代用水路と毛長川の合流部に架橋されており、見沼代用水路を跨ぐ橋となっています。

西側に舎人橋、東側に砂小橋があります。

1 現在の一本橋について

現在の一本橋

西



南

北

東

経過年数 : 55年(車道部)
42年(歩道部)

場所 : 舎人4丁目7番地から
舎人6丁目7番地先

橋長 : 8.5m(車道部)
8.9m(歩道部)

上部工 :
PC単純スラブ桁(車道部)
π型スラブ橋 (歩道部)

交通量 :
車両交通量 1706台/12時間
歩行者自転車 1612人/12時間

現在の一本橋を東から見た写真です。
北側が見沼代用水路、南側が毛長川です。

現在の一本橋は車道部が架設されてから55年、
歩道部は42年経過しています。

交通量は朝7時から夜7時の12時間で車は約1700台、
歩行者と自転車は併せて約1600人です。

2 架け替えの理由について

① 老朽化

建設後50年以上が経過しており、老朽化が進行している

② 耐震性能の不足

阪神淡路大震災(平成7年)以前の基準で造られており、現在の耐震基準を満たしていない



架 け 替 え

次に架け替えの理由ですが、「老朽化」「耐震性の不足」の2点です。

一本橋は建設後50年以上が経過しており、「老朽化」が進行しています。

また、現在の橋は平成7年に発生した阪神淡路大震災以前の基準で造られており、現在の耐震基準を満たしていません。

これらの理由により、架け替えることといたしました。

3 工事スケジュールについて

施工ステップ(予定)

施工ステップ	2022年度					2023年度					2024年度						
	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2
① 仮設道路整備			2022年11月~														
② 現橋撤去																	
③ 基礎杭設置及び橋台設置																	
④ 新橋架設 橋面整備																	
完 成																	2025年3月末頃

※工事時間帯は昼間施工を予定

三つ目に工事スケジュールについてです。

工事は、2022年度から2024年度にかけて行う予定としており、大きく分けて、①から④のステップで施工します。

架け替え工事中は一本橋を通行止とするため、まず仮設道路を設置します。

その後、現在の橋を撤去し、新しい橋の基礎を作ります。

最後に新しい橋を架けます。完成は2025年の3月末頃を予定しています。

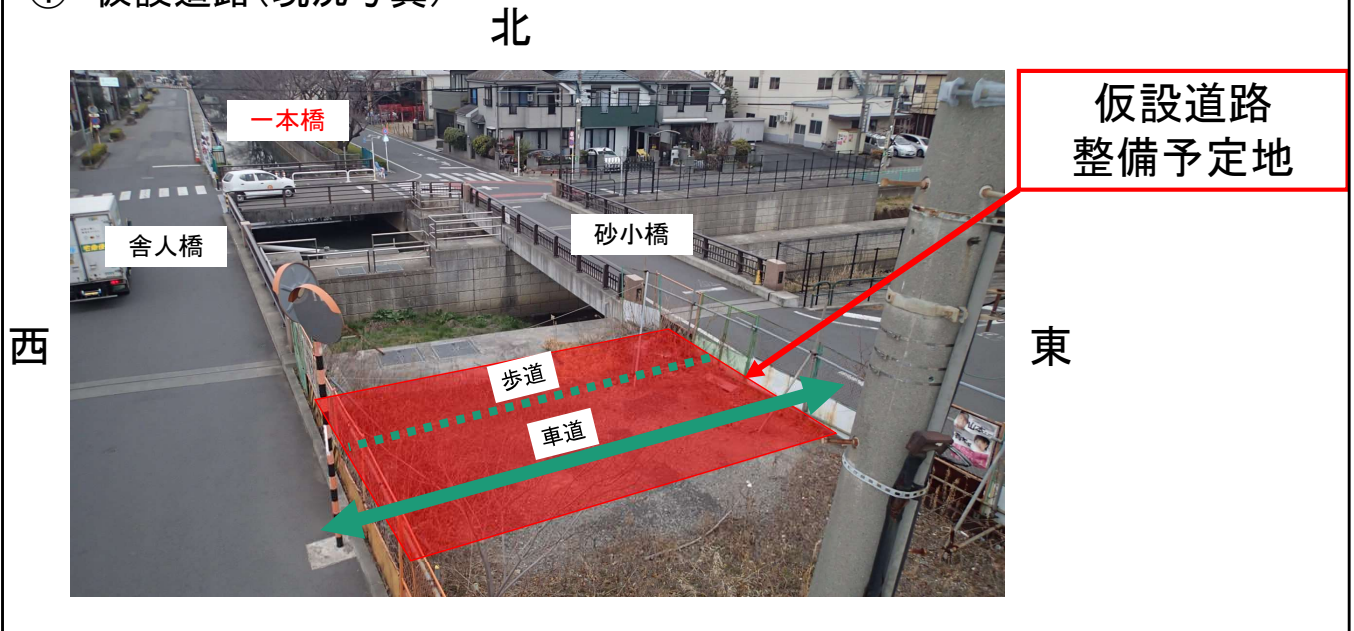
また、工事の際は皆様方の家屋等に被害を及ぼす事の無いよう万全を期して施工いたしますが、万が一の場合を考慮し、工事施工前に現状の状態を調査させていただきます。

なお、事前の調査は概ね半径30mの範囲で予定しております。

詳細については、別途該当のお宅にお手紙でお知らせいたします。

4 工事概要について

① 仮設道路(現況写真)



四つ目に工事概要のご説明をいたします。

先ほど説明した施工ステップ①の仮設道路の整備予定箇所の現況写真です。

現在はバリケードで囲われておりますが、工事期間中は自動車、自転車、歩行者が緑の矢印のように東西方向へ通行できるようにアスファルト舗装を行います。

また、車道と歩道の境目には柵を設置し、歩行者が安全に通行できるようにいたします。

4 工事概要について

② 現況撤去

(イメージ写真)



橋をいくつか切断後、少しずつ撤去します。

次に工事中のイメージ写真です。

この写真は先ほど説明した施工ステップ②の現橋の撤去です。

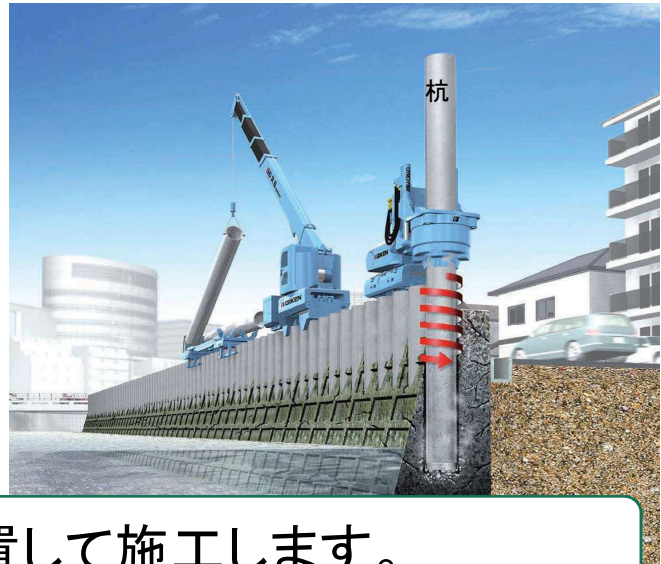
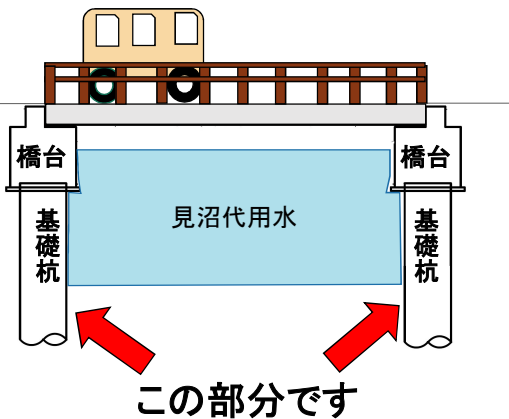
一度に橋全体を持ち上げることはできないので、橋をいくつか切断し、クレーンで少しずつ吊りあげて撤去していきます。

切断する際は、低騒音で砂ぼこりの発生しにくい機械を使用します。

4 工事概要について

③ 基礎杭設置時

(イメージ図)



杭打機を設置して施工します。

つづいて、先ほど説明した施工ステップ③の基礎杭設置時のイメージ図です。

工事中は、図のような杭打機やクレーン車等を設置しますが、低騒音型の機械で、振動対策工法で実施していきます。

基礎杭設置の際は、まず鉄製の杭を回転させることで既存の橋台を壊します。地下約30mまで掘り進めた鉄製の杭は、そのまま基礎杭として設置します。

4 工事概要について

④ 新橋架設時

(イメージ写真)



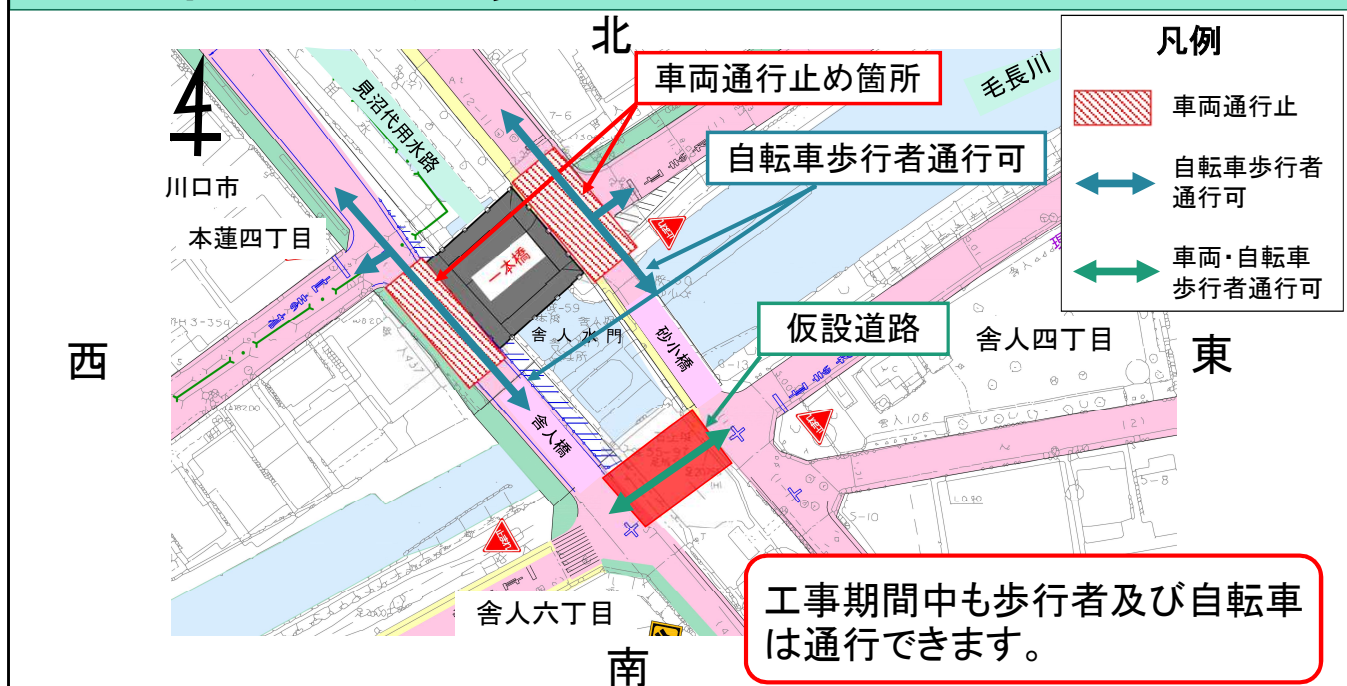
クレーン車を設置して施工します。

つづいて、施工ステップ④の新橋架設時のイメージ写真です。

橋を架ける際は、大型のクレーン車を用いて施工を行う予定です。

架設後は完成に向けて、橋の表面の舗装や柵の設置作業を進めていきます。

5 工事中の交通規制について



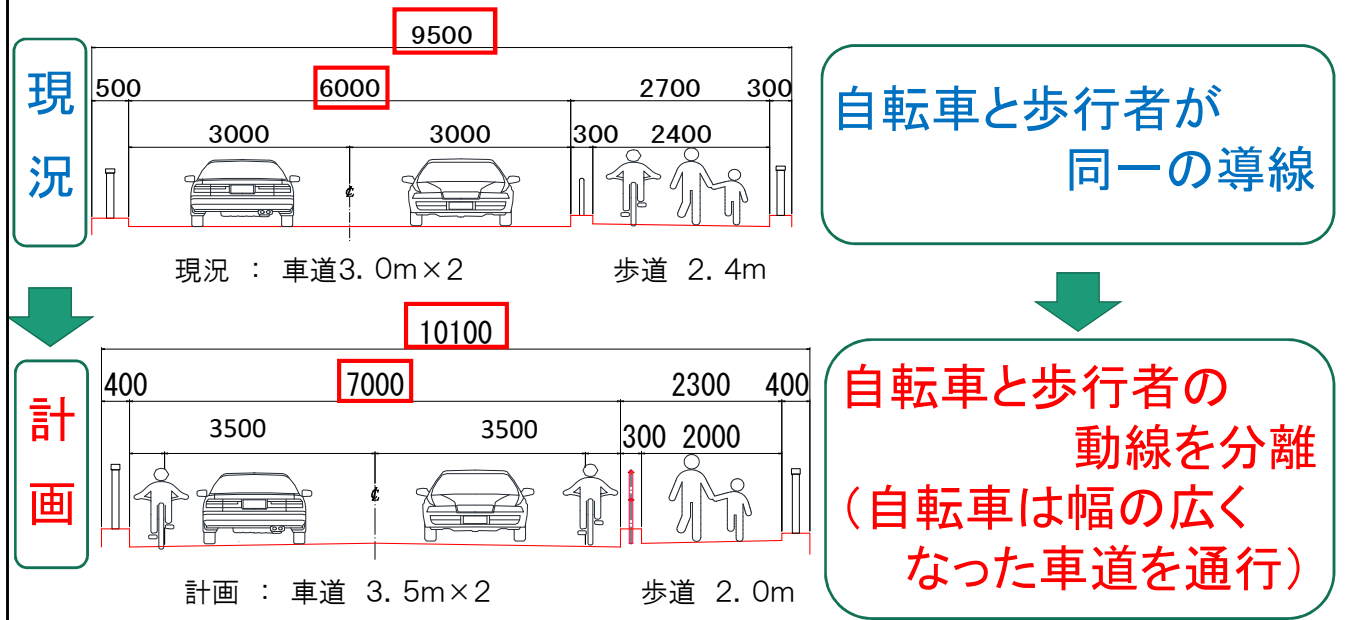
五つ目に、工事中の交通規制についてご説明します。

工事期間中はクレーン車等を設置して施工するため、一本橋の両岸で車両の通行止めや片側交互通行の期間が生じます。車両の通行止めは一本橋の東側と西側の両方を同時期に行うことはありません。歩行者と自転車については、青い矢印のように通行していただけます。

なお、先ほどもご説明いたしましたが、毛長川を挟んだ南側の赤く囲われた敷地には仮設道路を設置し、工事期間中も車両と歩行者、自転車は緑の矢印のように東西方向に通行できる計画としています。

工事期間の約2年間は交通規制が発生し、近隣の皆様にはご不便をおかけしますが、案内看板やガードマンを配置し、皆様方が安全に通行できるよう、また、一日でも交通規制期間が少なくなるよう検討して参りますので、ご協力のほどお願い致します。交通規制の時期に関しては、受注者が決定次第、現地掲示及びチラシのポスティングや回覧板等で事前にお知らせいたします。

6 架け替え後の橋について



架け替え後の橋についてです。
 上半分に表示しているのが現在の幅員、
 下半分に表示しているのが架け替え後の幅員です。

架け替え後の橋全体の幅員は、現在と比べて60cm広くなります。
 車道の幅員を広げることにより、結果、自転車歩行者を分離させ、歩行者の安全性を高める計画としています。

6 架け替え後の橋について

架け替え後の外観イメージ

(イメージ写真)



こちらが架け替え後の外観イメージ写真です。

外観はこのようになりますが、写真とは異なり一本橋は車道と歩道が横断防止柵によって分離されます。

新しい橋は、最新の国基準を満たすように設計しており、過去最大の揺れだった阪神淡路大震災のような震度7程度の地震が起きても、橋が落ちることのない耐震性を持っています。

一本橋架け替え工事のお問い合わせ先

足立区 都市建設部
道路公園整備室 道路整備課 整備第一係

電話番号：03-3880-5922(直通)

F A X：03-3880-5620

メー ル：gairo@city.adachi.tokyo.jp

以上が、一本橋架け替え工事の概要説明となります。

工事中は何かとご迷惑やご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどお願い致します。

また気になる点などがございましたらこちらへご連絡お願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。